

町田・生活者ネットワーク 笹倉みどり 市議会レポート

2023年 町田市議会第3回定例会



9月議会 一般質問より

プラスチックごみの発生抑制をめざして



プラスチックごみによる海洋汚染が世界的に大きな問題となっています。砕けて微細になったプラスチックは海洋生物や人体に取り込まれ、様々な悪影響を及ぼします。2018年のG7サミットではプラスチック製品削減をめざして「海洋プラスチック憲章」が掲げられましたが、残念なことに日本と米国は署名を拒否。発生抑制よりリサイクルを優先したとされています。日本のプラスチックごみはサーマルリサイクル(焼却しエネルギーとして利用)が6割、マテリアルリサイクル(分解して原料として利用)が2割ですが、サーマルリサイクルは大量のCO2が排出されたため、世界的にはリサイクルとは認められていません。マテリアルリサイクルも3/4は東南アジアへ輸出され、近年はそれも難しくなっています。プラスチックごみのリサイクルを「焼却」と「輸出」に依存し続けるのは、世界

が進める「脱プラスチック」に逆行するものです。レジ袋の有料化で発生抑制に成功したように、不要なプラスチック使用を減らすためには、「バージンプラスチックへの課税」や、プラスチックストロー等の用途を限定して規制する「用途規制」に取り組むことが必要です。町田市の廃棄物行政の基本も「リデュース・発生抑制」「リユース・再利用」「リサイクル」の順番です。プラスチックに関しても、まずは「発生抑制」に取り組むべきではないかと質問しました。市ではマイボトル等の普及啓発、庁舎内でのプラスチック削減、企業との連携に努めているとの答弁でした。これらをさらに進め、大量消費・大量廃棄から循環型社会へ切り替えるためにも、町田市として「脱プラスチック宣言」をしてはどうかと提案しました。

もっと市政への市民参画を進めよう

市民が、検討中の条例案や計画案に関心を持ち、意見を出したいと思った時、「市長への手紙」、電話やメール、説明会、パブリックコメント等の機会が設けられています。しかし説明会やパブリックコメントの段階で、条例案や計画案はほぼ完成しています。そこへ市民の意見が反映されることはあるのでしょうか。いくら意見を出しても「参考」にされるだけではないか、と感ずることがあります。とくに説明会での反対意見に対する市

側の硬直した対応を見ると、とても残念な気持ちになります。市民にとっても行政にとっても良くない状況です。計画や条例を作る際に、あらゆる段階で、市民が意見を表明できるような機会を設け、市民との対話を重視し、合意形成をはかりながら進めていけば、「反対」の声だけが大きくなることは避けられるのではないのでしょうか。市民が主体的に参画できる仕組み、市民がまちをつくっていると実感できる仕組みが必要です。そこで、市民参画に関する統一的な基準を定める「市民参画条例」、「市民自治条例」等の制定を提案しました。

●「ALPS処理水の海洋放出中止を国に求める意見書」否決

東京電力福島第一原発事故の被災者に寄り添う立場から国に対して「ALPS処理水の海洋放出中止を求める意見書」を私を含む超党派で提案しましたが、賛成少数で否決となりました。

●学校図書館と市立図書館に関する請願

学校図書館司書配置に関する請願は採択となりましたが、市は財源と人材の確保が困難という理由から、巡回型司書で考えているようです。学校教育の充実と学校間格差を無くすためにも、引き続き全校配置を求めています。都内最低額の市立図書館資料購入費の増額を求めた請願は不採択に。

●予算 第2子以降の保育料無料

10月1日から0～2歳児の課税世帯に対し第2子以降の保育料無償化、認証保育所は補助増額、幼稚園通園補助金は多子計算の年齢制限が撤廃になります。しかしいずれも企業主導型保育所は対象外であり、必要とするすべての養育者を対象とすべきです。

市立野津田公園湿生植物園はスケートパークの適地ではない

野津田公園は雑木林と草地が保存されており、これに水辺の環境が加わることで三拍子そろった生態系が完成します。公園北入口に近い湿生植物園は、調整池としての機能も持ち、かつては豊かな水辺がありました。水鳥が集まり、カエルの産卵場所にもなり、植物も豊富に見られ、水辺が少ない野津田公園の中では貴重な場所でした。しかし流入する土砂で少しずつ埋まってきて、今年の春には重機で泥のかき出しも行われました。



2014年5月に、この場所の約半分の面積をスケートパークとして整備する計画が発表されており、今年の3月議会で、その基本設計と生物調査の予算が決定しています。

水辺の環境は水生生物だけでなく、トンボやカエルなど幼

生期を水中で過ごすものや、鳥類など水場を利用する多様な生物が集まる場所となり、まとまった水面は外界に開けた窓の役割を果たします。スケートパーク等の遊び場は子どもたちにとって必要なもので、別の場所の整備を検討すべきです。

市政に対して、皆さんからのご質問、ご要望をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

TEL 042-729-2296 FAX 042-721-9131
e-mail machida@seikatsusha.net

🔍 笹倉みどり



<https://sasakura.seikatsusha.me>

